

## 2017-2020年新体操採点規則

### 2019年3月国内版Q&A

#### 【手具】

1、2019年度新規格の手具で実施する競技会は以下の通りです。

- ①日本代表決定競技会では2019年度から完全に実施する。
- ②全日本新体操選手権・全日本新体操ジュニア選手権では2020年度まで今までの手具も一部使用可とする。
- ③全日本新体操ユース選手権は、新規格の手具でなくても許可する。
- ④その他の試合については、各主催競技団体の定めによる。

2、手具の検定マークについては以下のように対応して下さい。

- ①装飾は検定マークを覆わないこと。覆ったものは使用不可。
- ②FIG検定マークが消えた場合でも、競技会前の手具点検で手具の規格に適合していれば使用可。
- ③リボンは縮むことも考慮され端は+10センチにマークがついている。頭と端の両方にマークがついていることとするが、消えることもあるため、頭・裾のどちらかにマークがあれば許可する。ただし、端を切ったことによりマークが無いものは認めない。マークの有無と規定の長さを手具点検で確認する。

3、手具の装飾について

- ①手具の形状が変わる装飾は許可できない。  
装飾の可・不可はFIG Websiteを確認すること。
- ②各手具の重さや形は、手具の規格一覧表を確認する。(競技規則・付録)

### 【総則】

- 1、手具が破損した際、予備手具を使用した場合の減点は何点ですか？
  - ・ET（実施技術）が使用不可能な手具による0.7の減点を行います。
- 2、リボンの団体で、2本の手具が結び、2本を場外に出し予備手具を使用した場合の減点は何点ですか？
  - ・ET（実施技術）が使用不可能な手具で、 $0.7 \times 2 = 1.4$ の減点を行います。

### 【個人D】

- 1、パンシェバランスとパンシェターンでクラブの床上の打ちを実施した場合は同じ手具操作ですか？違う手具操作ですか？
  - ・違う手具操作です。パンシェターンでは面が変わるからです。  
ボールの突きも同様です。
- 2、ジャンプターンとパンシェバランスで脚の下でフープを持ち替えた場合は同じ手具操作ですか？違う手具操作ですか？
  - ・水平面での持ち替えと、垂直面での持ち替えは違う操作です。  
水平面と垂直面での持ち替えは技術が違います。またフープは面があるため、面が違えば違う手具操作となります。（競技規則P18, 3.2.1）
- 3、高い投げは身長2倍ですが、床から2倍ですか？
  - ・高い投げは、身長+（身長×2）です。  
床から身長2倍では高い投げにはなりません。
- 4、“ロープの各端をそれぞれの手に受ける”手具操作で、膝でロープをしごきながら受けた場合、基礎手具技術グループとしてカウントできますか？
  - ・はい、できます。基礎としてはカウントしますが、加点要素としてはノーカウントになります。
- 5、2本のクラブによる小さな同時投げでADは、 $360^\circ$ の回転がない場合、0.2でカウントしますか？
  - ・ $360^\circ$ の回転がない場合、ノーカウントです。各手具特有の手具の規定をしっかりと確認してください。フープやボールの身体上の最低でも大きな2部位の転がしも同様で、1部位の転がしの場合はノーカウントです。

### 【団体D】

- 1、団体の複数投げで、フープとクラブ1本は複数投げとしてカウントできますか？
  - ・はい、できます。
- 2、CR・CRRで回転をした選手が身体上で手具を突き返した場合、手具をキャッチしなくても連係はカウントしますか？
  - ・はい、カウントします。突き返したことで手具をキャッチしたことになります。

